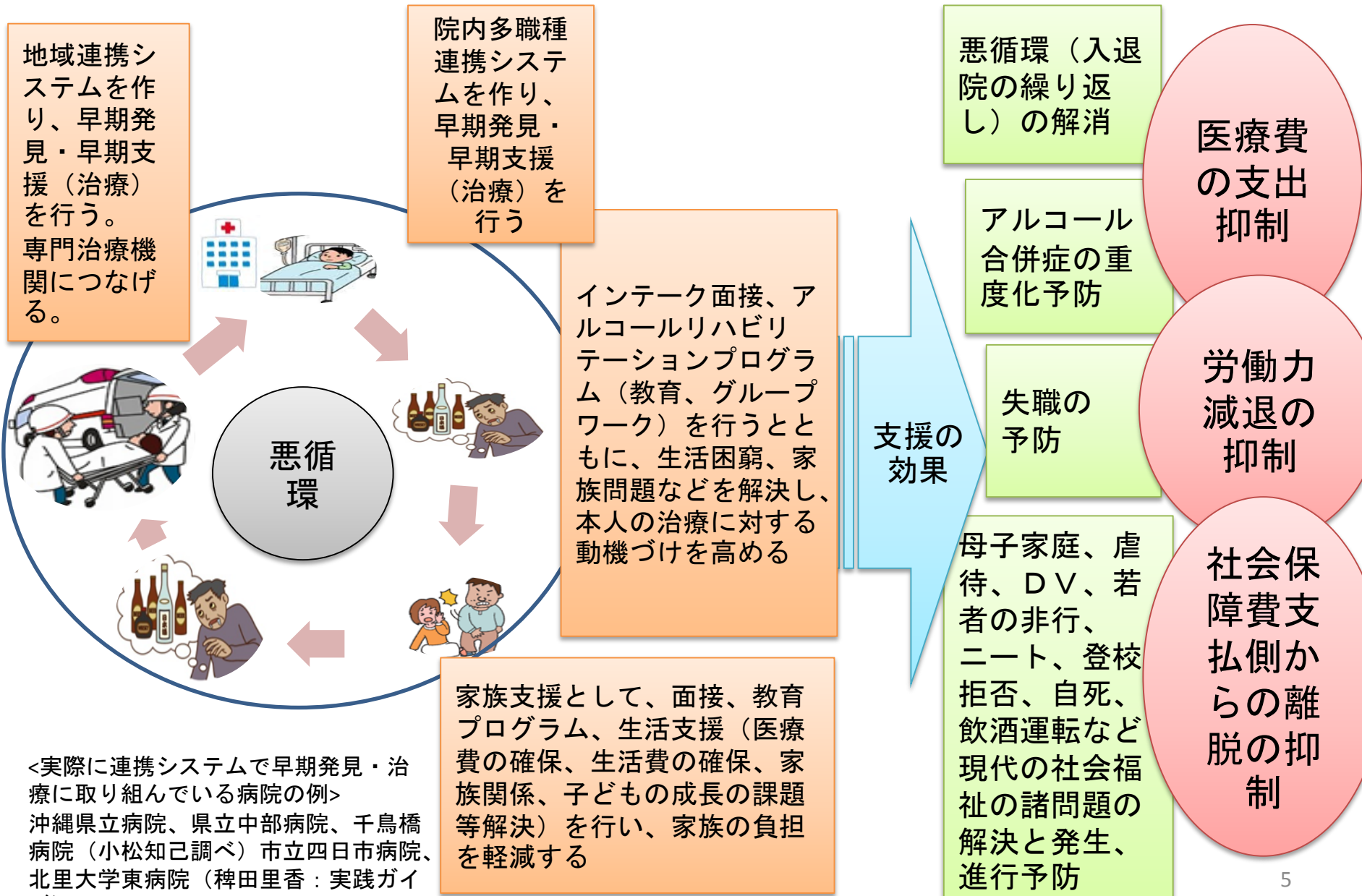


# SWによる進行予防支援（一般医療機関）



地域連携システムを作り、早期発見・早期支援（治療）を行う。専門治療機関につなげる。

院内多職種連携システムを作り、早期発見・早期支援（治療）を行う

インテーク面接、アルコールリハビリテーションプログラム（教育、グループワーク）を行うとともに、生活困窮、家族問題などを解決し、本人の治療に対する動機づけを高める

家族支援として、面接、教育プログラム、生活支援（医療費の確保、生活費の確保、家族関係、子どもの成長の課題等解決）を行い、家族の負担を軽減する

悪循環（入退院の繰り返し）の解消

アルコール合併症の重度化予防

失職の予防

母子家庭、虐待、DV、若者の非行、ニート、登校拒否、自死、飲酒運転など現代の社会福祉の諸問題の解決と発生、進行予防

医療費の支出抑制

労働力減退の抑制

社会保障費支払側からの離脱の抑制

<実際に連携システムで早期発見・治療に取り組んでいる病院の例>  
 沖縄県立病院、県立中部病院、千鳥橋病院（小松知己調べ）市立四日市病院、北里大学東病院（稗田里香：実践ガイド）